

平成27年度第1学期

科学技術政策特論

第2回講義

東日本大震災からの復旧・復興

復興庁 参事官
笹森 秀樹 氏

笹森先生からのメッセージ

2011年3月11日、三陸沖でマグニチュード9.0の我が国観測史上最大規模の地震が発生しました。この東日本大震災から、3月11日で丸四年を迎えました。この震災は、地震、津波、原発事故による複合的な災害であり、その復興は長期間を要する取り組みです。

この復興を成し遂げるためには、防波堤の高さを決める海岸工学の知識、防波堤や道路を整備する幅広い土木工学、建築工学の知識、住民の皆様と行政が合意形成を図るパブリックインボリューションの知識、まちづくりをはじめとする都市計画の知識、土地取引や収用制度等、各種法制度の知識が必要です。

復興庁は、関係省庁、関係機関の協力を得て、政府挙げて復旧・復興に取り組んでいます。震災から4年経た被災地のいまと、復興の取り組みをご紹介します。

日時：

2015年4月10日

金曜日

5 講目 16:30-18:00

場所：

工学研究院
オープンホール
[B-201]

笹森 秀樹 先生

1984年3月東北大学工学部土木工学科を卒業され、同年建設省入省。官庁エンジニアとして官公庁観光地域振興課長、群馬県庁県土整備部長等を歴任され、2013年11月から復興庁に勤務されています。これまで

- ・道路事業における費用対効果分析手法の導入
- ・道路事業におけるパブリックインボリューション手法の開発と活用
- ・道路公団民営化における高速道路整備・維持管理制度の開発導入
- ・公共事業の入札契約手法の改良
(施工体制評価臥型総合評価方式の開発)

等さまざまな業務を担当されてこられました。

担当：工学系教育研究センター 教授 渡邊康正
内線：6908

Mail：ceed-int@eng.hokudai.ac.jp